

# 令和5年度 高原町立後川内中学校 学校関係者評価書

4段階評価 [1:改善を要する 2:やや期待を下回る 3:ほぼ期待通り 4:期待以上]

本年度の重点目標		学校自己評価の結果の考察・分析及び改善策等	自己 評定	学校関係者 評価	学校関係者評価コメント
確かな学力	1 一人一人に目を向けた少人数指導の充実	町の小中合同での授業研究会を行い、校内研修の充実と小中連携の取組で授業力向上に努めた。また、校内での教職員による相互参観を実施し、お互いの授業について意見交換を行った。生徒のアンケートにおいても、ほとんどの生徒が「授業がわかる」と答えている。	3.5	3.8	各種テストで全学年・全教科が地区及び県平均を上回ったことは、学校の取組の成果であると思います。  ICT機器を自在に使いこなせることが当たり前の時代です。後川内の生徒たちも正しく使えるよう、指導を継続してほしい。  キャリア教育の充実により、進路選択の幅が広がるのは良いことだと思います。生徒たちに夢をもたせるような配慮が必要かもしれません。
	2 学習指導の工夫・改善と授業力の向上	全学年・全教科において、各種テストで地区・県平均を上回ることができた。今後も更に学力向上を目指し、少人数ならではの個別指導の充実と、生徒の自発的な取組ができるような指導方法について研修を重ねていきたい。	3.6		
	3 効果的なICTの活用	授業においてICTを積極的に活用することができた。生徒のICT活用の技能も向上している。また、ICTリテラシー教育でも職員間の共通理解が図られており、生徒への指導もできている。タブレットの家庭への持ち帰りも頻度が増えてきた。	3.4		
	4 キャリア教育の充実と家庭との連携	1年間を通して、全学年においてキャリア教育の充実を図ることができた。進路選択の幅を広げ、「自分の進路」「生き方」等について真剣に考えることができた。また、高校の体験入学や進路学習を通して進路への意識が高まり、望ましい職業観も身に付けつつある。			
豊かな心	1 生徒指導・生徒理解の充実	週に1回、生徒の情報交換を行い、生徒への支援・援助を行っている。生徒の性格や特性、家庭状況等の生徒指導面でも全職員で共通理解を図っており、個々に応じた指導に活かす事ができた。	3.2	3.8	小人数の学校ですので、子ども達の特性や個性を、担任だけでなく全職員で把握することが大事だと思います。全職員で共通理解ができていることは有り難いですが、子ども達の個性や特性を、型にはめてしまわないようにお願いします。  性格や特性、家庭状況等、生徒それぞれに違いがあると思うので、個々に応じた指導を今後も続けてほしいです。
	2 各教科や行事等での児童生徒の活躍	生徒会活動もそれぞれの生徒が意欲的に取り組み、責任をもって計画・運営にあたっている。積極性や協調性が身に付いてきた。	3.3		
	3 生徒会活動の活性化	学校生活アンケートは毎月行い、生徒の実態を確認し、状況に応じて事後確認まで含めて指導、支援を行った。年度途中に不登校傾向になった生徒もいたが、担任を中心に組織的な対応を行っている。	3.6		
	4 自他を大切にす心の教育の充実	定期的教育相談の実施や、気になる生徒への声かけを行い生徒理解を深めた。また、自己決定の場を設けることにより、個々の自立を促すことを心がけた。			
	5 生徒の実態把握と自立を目的とした支援	避難訓練、自転車点検、交通安全教室等は計画的に実施できた。また、保護者への引き渡し訓練は、1月の「新燃岳を考える日」において実施できた。			
	6 避難訓練等による防災・安全意識の高揚	保健体育の授業で補強運動を取り入れたり、校内掲示物や体力向上のための器機を常設したりすることにより、運動の日常化を図ることができた。部活動においても適切な休養を取り入れながら基礎体力の向上に努めている。体力テストの結果については、DE判定層をなくすことが必要である。	3.1		
健やかな体	1 体育の授業や体育的行事、部活動の充実	「ほけんだより」で感染症予防や健康安全面についての啓発を行った。メディアとの正しい付き合い方についても、生徒の実態に合わせて提示資料を配付し、参観日等を活用して保護者への周知を図った。インフルエンザやコロナウイルス感染症感染防止対策についても指導を徹底することができた。	3.7	3.3	登下校において自家用車の利用が多く見られます。防犯面での配慮もあるのかもしれませんが、自力登校が体力向上の面からも必要ではないかと感じています。  体力テストD・E判定の生徒をなくすための工夫をお願いしたい。
	2 食に関する指導の充実と心身の健康維持	弁当の日や給食感謝集会で栄養教諭の講話を実施するなど、食の大切さや感謝の心を育てている。			
	3 保健体育、体育的行事等の充実	情報発信はHPや学校だよりで定期的に行っている。本年度は、ほぼ毎週HPを更新することにより閲覧者数が伸びた。地域の方からも、学校の状況や生徒の様子がわかりやすい、と好評であった。	3.3		
特色ある教育	1 学校教育活動の情報発信(学校HP、学級・学校便り)	日本発祥地まつりにおいて東雲太鼓を発表することができ、地域の方にも大変喜んでいただいた。また、小中合同の行事は、中学生としてリーダーシップを発揮し充実した活動を行うことができた。地域の方にも中学生の成長した姿を披露することができた。	3.3	3.8	後川内中生としての誇りを育むのに、東雲太鼓はとても役に立っていると思います。いつまでも「ふるさとの記憶」として残ると思います。伝統は今後も大切に引き継いでもらいたいです。  学校HPは定期的に更新され、学びの様子がよくわかるものになっていると思います。
	2 ふるさと教育の推進、東雲太鼓保存会との連携	2年後の統廃合に向けて、小中一貫教育を推進していきたい。			
	3 町一貫教育研修の充実				
【総評】	1 本年度の取組について 具体的な数値目標を立てて、達成に向けた取組をする必要がある。小中学生の挨拶の指導が必要だと思います。挨拶は基本です。知らない所で知らない人にも挨拶できる人、大人よりも先に挨拶できる人になってほしい。子どもは親を見て育つので家庭への呼びかけも大事。また、地域も良い見本となってほしい。地域と共に指導していく。				
	2 次年度への改善に向けて 統廃合に向けて課題は山積している。東雲太鼓や後川内夏まつりなどの「残すべきもの」をどのように存続させていくか、地域と共に考えていく必要がある。CSの視点に立って、今後も地域と連携・協働した取組が大事である。				